

2019年度 教育課程について

◎目指す方向を明確にする

■教育目標等の見直し

○ 学校が目指す方向をより明確にするために、現行の教育目標等をふまえつつ、次の観点から教育目標等を見直しました。

- ・ 学校教育目標を具現化した形として、モスクワ日本人学校の9年間を通して**育みたい資質・能力**を位置付ける。
- ・ 1年間をかけて達成したい児童生徒の姿を、**知・徳・体の重点目標**として位置付ける。
- ・ 学校教育目標、育みたい資質・能力、重点目標の整合性をもたせる。

◆学習指導要領が改訂され、小学校では2020年度から、中学校は2021年度から全面実施されます。それに伴い、モスクワ日本人学校の教育課程の一部が変わります。

◆今後も様々な機会に説明させていただきますが、今回は主な変更点をお知らせいたします。一層のご理解をお願いいたします。

【現在の学校教育目標等】

<学校教育目標>

- 新しい日本の将来をになう児童生徒の育成
- 豊かな心を持ち、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成
- 自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく、個性的な児童・生徒の育成
- 異なる文化を体験することにより、日本の伝統をより深く尊重することのできる児童・生徒の育成

<めざす子ども像>

- 意欲をもって学ぶ子（知）
- 仲よく助け合う子（徳）
- 丈夫で元気な子（体）
- モスクワでの生活を豊かにする子（国際理解）



<学校教育目標> **未来を拓く確かな力**を身に付けた児童生徒の育成

<育みたい8つの資質・能力>

- 生涯にわたって学ぶ力（学習意欲。主体的に課題解決に取り組む力）
- 知識・情報活用力（知識や情報を生かし考えを整理・活用する力）
- コミュニケーション力（他者と積極的に関わり、傾聴・対話する力）
- 表現力（思いや願いを自分らしく表現する力）
- 創造性（多様な他者と協働し、よりよい生活を創っていかこうとする態度）
- 自律性（めあてに向かって最後までやり抜く力。振り返り、見直す力。身体性）
- 共生的な態度（周りの人たちと協調し、関係をよりよくしていこうとする態度）
- 郷土を愛する心（日本の文化と伝統への愛着と誇り）

<年度の重点目標>

- 協力して学び、考えることを楽しむ子（知）
- 相手のことを考えて行動する子（徳）
- 健康づくりに進んで取り組む子（体）

資質・能力を基盤にした教育が求められています。

グランド・デザインもご覧ください。

◎モス日教育の一層の充実を図る

■外国語教育（英会話を含む）

<外国語教育>

- 2020年度より小学部中学年では年間35コマの外国語活動、高学年では年間70コマの外国語科の授業が始まります。
- 中学校への円滑な接続を図るという課題も考慮しながら、段階的に「読むこと」「書くこと」の言語活動を加えて、系統的に学習を進めていきます。授業は、学級担任が担当します。

<英会話>

- 小学部1年生から中学部3年生まで、英会話講師（2名）による英会話授業を週1時間実施します。小学部1年～6年は各学年を2つのクラスに分けて実施しますが、担当教師（1名）が児童の学習支援に回り充実を図ります。また、中学部は、英会話講師（2名）と英語担当教師（1名）の3名体制で各学年を3つのクラスに分けて実施します。

<ロシア語>

- ロシア語を生活科（小学部1・2年生）と総合学習（3年生以上）に組み入れ、それぞれの学習内容と関連させながらロシア語にふれさせ、ロシア理解を深めていきます。

学習形態や内容は変わりますが、
ロシア語の学習は継続します。

■ロシア理解教育

- 生活科や総合学習の学習を通してロシア理解を深めることができるよう、日本語とロシア語の両方できる常勤講師が副担任として児童生徒の学習をサポートしていきます。
- 常勤講師による副担任制は新たな試みですが、現在のところ副担任の役割を次のように考えています。今後、取組を進めながら見直しを図り、よりよいものにしてまいります。

【副担任の役割】

- ・生活科や総合的な学習の時間等でのロシアに関する情報提供と授業参加
- ・生活科や総合的な学習の時間等でのロシア理解に関わるロシア語指導
- ・日本語が難しい児童生徒への支援（授業支援、学習支援）
- ・国際理解（進路を含む）担当
- ・校外学習の連絡調整と参加
- ・担任との打合せ
- ・その他

■モス日タイム（火曜日の日課変更）

- 現在当校では、週30コマ（1日6時間×5日）で授業を行っています。新学習指導要領では小学校4年生以上で29コマの授業を行うことになり、余裕は1コマしかありません。しかし、上述のとおり来年度も引き続き英会話の授業を週1時間実施しますので、子どもたちが楽しんでいる「モス日タイム」の時間を確保するためには、コマ数を増やさなければなりません。そこで、火曜日の日課の一部を変更し、31時間目を設けることにします。
- 始業と下校時刻を変更せず、休憩時間等を短縮し火曜日だけ7時間目の授業（モス日タイム）を行うことにします。また、小学部1・2年生は午後の授業を行わずに下校することになりますので、火曜日は1・2年生が、木曜日は1年生が13：45に下校することになります。

（小学部2年生の13：45下校が、木曜日から火曜日に変更になります。）

感謝の気持ちを形にする ～卒業生を送る会～



- ◆3月1日（金）には「6年生を送る会」が、7日（木）には「3年生を送る会」がそれぞれ行われました。
- ◆両会とも趣向を凝らした内容でした。思いを形にすることで、感謝の気持ちふくらませることができました。



野口宇宙飛行士講演会 ～夢みる力を育む～

- ◆3月2日（土）、大使館の多目的ホールで野口宇宙飛行士の講演会が行われました。休日の開催でしたが、大勢の子どもたちが参加し、めったに聞くことのできない現役宇宙飛行士の話に耳を傾けました。
- ◆質疑応答の時間では、子どもたちの質問にたいねいに答えていただきました。気さくな野口宇宙飛行士の人柄に触れると同時に宇宙を身近に感じることができました。



多目的室の手洗い場が新しくなりました。

- ◆多目的室の手洗い場の改修工事が終わりました。保護者の皆さんをはじめ、ご支援いただいた皆様のご厚意に感謝申し上げます。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。
- ◆内面を育む機会にしようとして、子どもたちには、次のような話をしました。
 - モス日を支援してくださっている大勢の方々の「整った学習環境で学んでほしい」という思いが今回の改修工事につながったこと。
 - これから先、この校舎で学ぶ後輩たちにしっかりと「思い出多い校舎」を引き継いでいくことが、私たちの義務であること。

